

(様式 1-3)

盛岡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	9	事業名	市道中屋敷町青山一丁目 2 号線歩道改修事業	事業番号	◆D-4-2-3
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	市 (直接)		
総交付対象事業費	7,000 (千円)	全体事業費	33,000 (千円)		
事業概要					
<p>東日本大震災により住宅を失い、岩手県内陸部に避難し、みなし仮設住宅等に入居している被災者の居住の安定を図るため、災害公営住宅を盛岡市内に建設し、被災者用の恒久的な住宅を提供するのに併せ、周辺道路の歩道改修を行い、歩行者の安全性の確保と回遊性の向上による既存町内会周辺住民との交流促進を図るものである。</p> <p>【経緯】</p> <p>災害公営住宅（盛岡第一）は、平成 29 年 7 月に建設地決定以降、岩手県において基本設計がまとめられたが、地元に対する事業説明会において、住宅建設による周辺地域の住環境や交通環境への影響に対する意見が出されたことから基本設計の見直しを含め、意見への対応を検討してきたところである。</p> <p>県は、建設戸数の見直しを行い、建物の規模を見直すことで、近隣住民の住環境への配慮と交通流入量の軽減に努めるとともに、当地西側へのアクセス通路を新設した。</p> <p>市は、地域から寄せられた意見への対応として、歩行者の安全な通行を確保し、さらには、地域住民との交流促進を図り、良好なコミュニティ形成に資するため、入居者等が利用する道路の歩行環境を改善するものである。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;令和元年度&gt;</p> <p>調査・設計 用地測量</p> <p>&lt;令和 2 年度&gt;</p> <p>歩道改修工事</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災により住宅を失い、岩手県内陸部に避難し、みなし仮設住宅等に入居している被災者に対して行った被災者意向調査の結果、盛岡市内への建設必要戸数は 149 戸であり、当該災害公営住宅整備事業と併せて実施する効果促進事業である。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
なし					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-4-2
事業名	災害公営住宅整備事業（盛岡第一）
交付団体	県
基幹事業との関連性	
災害公営住宅入居者の住環境及び安全性の向上と周辺住民との交流促進を目的としている。	